

2. ふるさと物産センター「ねんりん」について

野沢温泉村虫生活活性化センター（当時名称）は、農村地域における集落住民のコミュニケーションを図るために自治会等の会合を行う施設、また地域の特産品の展示及び加工販売のための施設として建設されました。若者から老人まで自由に使える多目的ホール等を備え、農業体験やイベントの開催などにより、都市住民との交流の拠点となるよう整備されました。



平成5年から6年にかけて、中山間地域農村活性化総合整備事業により総事業費3億円余りをかけて、千曲川沿いに広がる田園風景や山並みの眺望が美しい国道117号線沿線の虫生地区に建設されました。

平成6年11月から平成8年7月まで、虫生地区にて出資を募り設立された虫生活活性化振興組合が、野沢温泉村より経営委託を受け運営しました。その後、一時野沢温泉村の直営となりましたが、野沢温泉村森林組合に経営委託の打診があり、3度の役員会を経て、受託することが決定されました。

そして、平成9年4月27日、野沢温泉村森林組合のもと「ふるさと物産センター『ねんりん』」（以下「ねんりん」）として、再オープンすることとなりました。



「ねんりん」は、従業員6名体制にて、売店、食堂（各種宴会）の運営をスタートしました。

多くの皆様にご支援とご協力をいただき、順調に売上げを伸ばし、北信州森林組合が設立された平成13年度には、当初の目標「5年後5,000万円超の売上げ」を達成しました。

その後、3年に亘り堅調な経営を維持していましたが、平成16年10月、新潟県中越地震の発生に起因し、「ねんりん」の位置する、飯山市と栄村を結ぶ国道117号線の交通量が大きく減少し、厳しい経営を強いられることになりました。



そのような環境下でも、様々な取り組みを行い、経営の改善を図ってきました。

《周辺の環境整備》



平成 21 年、野沢温泉村により造成工事が行われ、遊具や花壇を設置しました。

《宣伝活動》



新規顧客の開拓を目的に営業活動を行いました。平成 21 年には、パンフレットを作成し、バス会社 51 社にコーヒー無料券を配布しました。

《各種イベントの開催》



野沢温泉村北部地域活性化推進協議会の協力のもと、こどもまつり、たけのこ祭り、山菜まつり、秋の味覚祭り、収穫祭などの多彩なイベントを開催し、盛況を博しました。

《農林産物直売所ねんりん オープン》



野沢温泉村より経営委託を受け、平成 24 年にオープンしました。野沢温泉村及びその近隣市町村で生産された農林産物等の受託販売を行いました。

《送迎用マイクロバス更新》



平成 25 年、マイクロバスを更新し、管内の宴会で送迎を行いました。

平成 28 年 12 月 4 日、「ねんりん」は、諸般の事情により閉店し、平成 29 年 3 月 31 日、運営を野沢温泉村に返還することとなりました。

平成 9 年のオープンより 20 年近い年月を、多くの皆様のご協力のもと試行錯誤しながら売り上げの拡大に取り組んできたことは、中心となって尽力してきた支配人をはじめ、従業員、また北信州森林組合役職員のかけがえのない思い出となっています。